

<第13回 貨幣市場>

IS-LM 分析とは、国民所得と利子率を用いて財市場と貨幣市場の同時均衡を分析することである。  
今回は LM 曲線の基となる、貨幣市場について考えてみよう。

[基礎事項のチェック] (テキスト 5 章が少し関連する)

<貨幣乗数>

- ・マネーサプライ(M) 家計や企業が持っている現金や預金のこと  
M=C+D (C:現金、D:預金)
  - ・ハイパワード・マネー(H) 日銀が所有する現金や準備金のこと  
H=C+R (C:現金、R:準備金)
- ここで、M を H でわると、

$$\frac{M}{H} = \frac{C+D}{C+R} \Leftrightarrow M = \frac{C+D}{C+R} H \Leftrightarrow M = \frac{\frac{C}{D} + 1}{\frac{C}{D} + \frac{R}{D}} H$$

ここで、M と H の増加分をとると、

$$\Delta M = \frac{\frac{C}{D} + 1}{\frac{C}{D} + \frac{R}{D}} \Delta H \quad \left( \frac{C}{D} : \text{現金預金比率、} \frac{R}{D} : \text{支払準備率} \right)$$

であり、貨幣乗数(信用乗数ともいう)は  $\frac{\Delta M}{\Delta H} = \frac{\frac{C}{D} + 1}{\frac{C}{D} + \frac{R}{D}}$  である。

日銀がハイパワード・マネーを増やしたとき、その  $\frac{\frac{C}{D} + 1}{\frac{C}{D} + \frac{R}{D}}$  倍マネーサプライは増加する。

[例題]

ハイパワードマネーに関する次の説明文中のア～ウに入る語の組合せとして妥当なのはどれか。  
ハイパワードマネーとは、中央銀行の (ア) であり、現金と (イ) の合計である。中央銀行が買いオペレーションを行うとハイパワードマネーが増加し、それ以上に貨幣供給量が増加する。例えば、個人が所有する現金預金比率が 0.2、民間の支払準備率が 0.1 で、1兆円の貨幣供給が生み出す貨幣供給量は (ウ) 兆円となる。

	ア	イ	ウ
1 :	負債	預金準備	3
2 :	負債	預金準備	4
3 :	負債	預金	4
4 :	資産	預金準備	4
5 :	資産	預金	3

(解) ア 負債 現金は日銀の負債である。

イ 預金準備 現金と預金の合計はハイパワードマネーではなく、マネーサプライである。

ウ 4  $\frac{C}{D} = 0.2, \frac{R}{D} = 0.1$ であるので、貨幣乗数は  $\frac{\frac{C}{D}+1}{\frac{R}{D}+\frac{C}{D}} = \frac{0.2+1}{0.2+0.1} = \frac{1.2}{0.3} = 4$  となる。よって、4

以上より正解は選択肢 2。

### [練習問題]

1. 公衆の保有する現金通貨を C、預金通貨を D、市中銀行の支払準備金を R、ハイパワード・マネーを H、マネー・サプライを M とする。このとき、

$$M=C+D$$

$$H=C+R$$

が成り立つものとする。

今、現金・預金比率  $\frac{C}{D} = 0.3$ 、支払い準備金・預金比率  $\frac{R}{D} = 0.2$  であるとする。ハイパワード・マネーが 20 億円増加された場合、貨幣乗数式に基づいて計算した時のマネー・サプライの増加額はどれか。

- 1 : 30 億円
- 2 : 48 億円
- 3 : 50 億円
- 4 : 52 億円
- 5 : 100 億円

(特別区 2004)

2. 現金預金比率が 8%、支払準備率が 1%、通貨当局によるハイパワード・マネーの供給量が 50 であるとき、マネー・サプライはいくらになるか

- 1 : 450
- 2 : 500
- 3 : 550
- 4 : 600
- 5 : 650

(国家Ⅱ種 2009)